

愛知県後発医薬品採用リスト

平成28年1月

愛知県後発医薬品適正使用協議会

愛知県後発医薬品リストについて

1. 目的

後発医薬品の種類が多いことから、医療関係者にとって後発医薬品採用のための情報収集・評価が大きな負担となっています。医療機関や薬局が後発医薬品を選択する際の一助となるよう、県内の公立・公的病院等で採用している後発医薬品採用リストを作成しました。

2. 協力病院（五十音順）

【名古屋医療圏（尾張中部医療圏含む）】（19病院）

愛知県がんセンター中央病院、愛知県立城山病院、医療法人済衆館済衆館病院、国家公務員共済組合連合会名城病院、総合病院南生協病院、大同病院、独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院、独立行政法人国立病院機構東名古屋病院、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター、独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院、名古屋記念病院、名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院、名古屋市立大学病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋掖済会病院、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院、名鉄病院

【海部医療圏】（2病院）

愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院、津島市民病院

【尾張東部医療圏】（4病院）

愛知医科大学病院、公立陶生病院、独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院、藤田保健衛生大学病院、

【尾張西部医療圏】（5病院）

愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院、一宮市立市民病院、一宮市立木曾川市民病院、稲沢市民病院、総合大雄会病院

【尾張北部医療圏】（5病院）

愛知県心身障害者コロニー中央病院、医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院、春日井市民病院、小牧市民病院、社会医療法人志聖会総合犬山中央病院

【知多半島医療圏】（4病院）

愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院、あいち小児保健医療総合センター、常滑市民病院、独立行政法人国立長寿医療研究センター

【西三河北部医療圏】（2病院）

愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院、トヨタ記念病院

【西三河南部東医療圏】（2病院）

愛知県がんセンター愛知病院、岡崎市民病院

【西三河南部西医療圏】（4病院）

刈谷豊田総合病院、社会医療法人財団新和会八千代病院、西尾市民病院、碧南市民病院

【東三河北部医療圏】（2病院）

新城市民病院、東栄町国民健康保険東栄病院

【東三河南部医療圏】（3病院）

蒲郡市民病院、豊川市民病院、独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター

以上52病院

3. 掲載品目

協力病院が平成27年10月1日時点で採用している後発医薬品（内用薬、注射薬、外用薬）

4. 掲載項目（平成2年6月改訂の日本標準商品分類の分類番号（薬効分類）順）

項 目	説 明
①薬価基準収載医薬品コード	厚生労働省医政局経済課の分類コード
②YJコード・個別医薬品コード	上記コードにおいて統一名収載された個々の医薬品に対して別々のコードを付与したもの
③成分名	当該医薬品の有効成分の名称（配合剤で非常に多くの医薬品成分を含む場合には省略されている。）
④後発医薬品名	診療報酬において加算の対象となる品目のみ掲載
⑤規格	有効主成分の含有量（5mg、10mgなど）や剤形（錠剤、カプセル剤などの別）を示している。
⑥メーカー名	当該医薬品を製造販売している企業名
⑦先発医薬品名	同一規格のないものや、すでに販売が終了しているものは、「なし」としてある。
⑧採用病院数	全体及び医療圏毎の当該医薬品の採用病院数
⑨一般名コード	厚生労働省が示した一般名処方加算の対象となるすべての成分・規格（*）（院外処方が想定されないものを除く。）についての、処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載
⑩一般名処方の標準的な記載	（*）後発医薬品のある先発医薬品。昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品のうち、価格差のある後発品があることから「先発医薬品に準じたもの」とみなされるものを含む。

※厚生労働省保険局作成の薬価基準収載品目リスト及び一般名処方マスタ（ともに平成27年12月11月適用）を基に作成している。